

科 目 名
中国語Ⅲ Chinese Ⅲ

3年 前期 2単位 選択
単 援 朝

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 2-(1), 3-(5)
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	A 4	建築計画コース		
	a, f, g	建築構造コース		

【概 要】

中国語Ⅲは、中国語の初級をひととおり終え、さらに一方上の段階を学ぶ人のための講座であるが、中級から上級への橋渡しの性格を有するもので、上級というより準上級として設定している。この講座で、すでに中国語Ⅰ、Ⅱで学習した内容を固めながら使用頻度の高い語彙、表現文型、言い方など新しいものをすこしずつ学んでいく。

【到達度目標】

- (1) ピンインを攻略する。
- (2) 会話文の特徴を理解する。
- (3) 文章の書き方を理解する。
- (4) ある程度会話ができて、短文が書ける。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① ドライブ	助動詞（1）
② ドライブ	応用会話
③ 運転を習う	助動詞（2）
④ 運転を習う	応用会話
⑤ 公園に向かう	助動詞（3）、禁止の表現
⑥ 公園に向かう	応用会話
⑦ 公園に入る	逆説・理由の表現
⑧ 公園に入る	応用会話
⑨ 文法・表現のまとめ	第一ユニット
⑩ 池の畔で	進行・経験の表現
⑪ 池の畔で	応用会話
⑫ 休 憩	語気助詞、状態の持続、程度の表現
⑬ 休 憩	応用会話
⑭ 写真撮影	完了・持続の表現
⑮ 復 習	第一課～第七課 学生自身による自己評価

【授業方法】

中国語で表現できるように会話練習のほか翻訳、作文にも力点を置く。応用会話で同じ表現を繰り返し練習させる。毎回、授業の最後に練習問題を課す。

【学習到達度の評価】

- 1) 授業中に特に会話練習と質問を通して学生の理解度を確認する。
- 2) 毎回、その日に学んだ内容を中心とする練習問題をやらせ、次の授業の冒頭で正解を発表し、問題点の指摘、解説を行う。
- 3) テストの講評を行う。

【評価方法】

- 1) 練習問題、小テスト（40%）、定期試験（60%）の成績で総合的に評価する。その合計が60以上を合格とする。60点以下の場合は、再試験を実施する。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【教科書・教材】

董燕／遠藤光暁 著『話す中国語 初級～中級』朝日出版社

【履修上の注意】

会話練習に積極的に参加すること。